オープンソースのちからで実現する デジタル・トランスフォーメーション

オープンソースの原則で
チーム、テクノロジー、プロセスを結びつける

#OPENTRANSFORMS

組織を変革する

オープンソースのテクノロジー、カルチャー、プラクティスでビジネスを強化する

1 ページ

第 1 章 - 取り組むべき課題：デジタル・トランスフォーメーション

2 ページ

第 2 章 - オープンな企業文化：イノベーションを実現する組織づくり

4 ページ

第 3 章 - オープンなプロセス：働き方を見直す

6 ページ

第 4 章 - オープンなテクノロジー：変化の触媒

- お客様事例：既存 IT の最適化
- お客様事例：俊敏なハイブリッドクラウドの実現
- お客様事例：プロセスの自動化
- お客様事例：クラウドネイティブな手法による開発
- お客様事例：効率的なインテグレーション

13 ページ

第 5 章：コラボレーションによる変革

第 1 章

取り組むべき課題：デジタル・トランスフォーメーション

世界は変わりました。デジタルデバイスとデジタルサービスによって世界中がつながり、顧客は今までになく多様な選択肢を前にしています。あらゆる業界が破壊的革新に直面しています。顧客の要望に応え、競争を勝ち抜くためには、変革を遂げなければなりません。IDC の「FutureScape: Worldwide IT Industry 2018 Predictions」によると、回答者の 85% が、企業文化、プロセス、テクノロジーを適切に組み合わせることが、デジタル・トランスフォーメーションの成功に非常に重要であると考えています。[1]

企業のリーダーたちは、デジタル・トランスフォーメーションが継続的な成功のために重要だということを理解しています。しかし、従来のテクノロジー、旧式のプロセス、IT に関する多種多様な取り組みが混在しているために、ビジネスへの具体的なメリットが実現するよりも前に、トランスフォーメーションの取り組みが行き詰まり、止まってしまうこともあります。ソフトウェアは、毎日の暮らしや業務をよりよくする大きなポテンシャルを秘めています。しかし、組織がそれを実現するには、スピードが必要です。

トランスフォーメーションの成否は、組織のリーダーが変革へ向けてどのようなアプローチを取るかに左右されます。成功の鍵は、継続的なトランスフォーメーションのための基盤を整えることにあります。コラボレーションを重視する企業文化、オープンで透明性の高いプロセス、および業界で定評のあるオープンなツールが、今後のトランスフォーメーションを支えていくために必要な俊敏性とセキュリティを提供します。

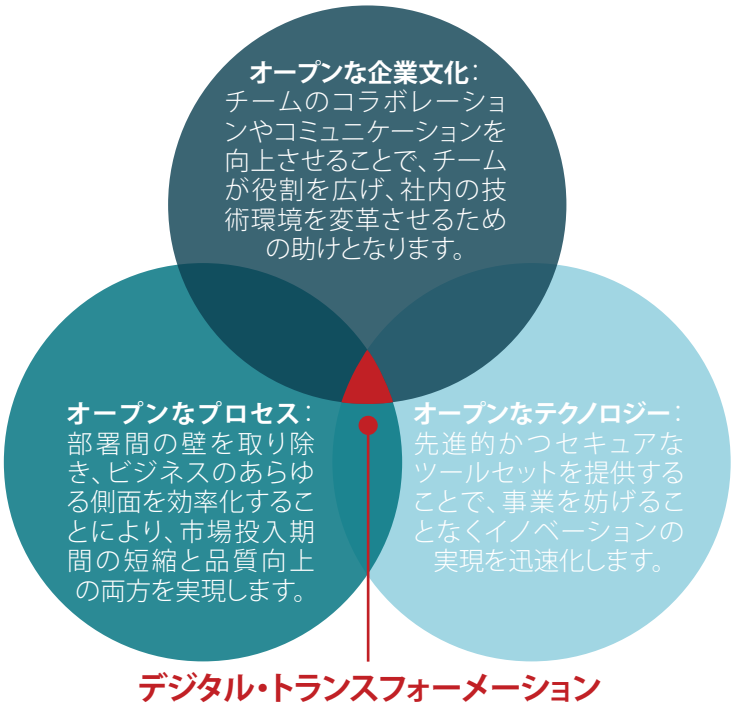


図 1. デジタル・トランスフォーメーション：オープンソースの原則の交差部分

トランスフォーメーションは、ビジネスに対してオープンなアプローチを採用することから始まります。この際に注目する 3 つの重要分野は、企業文化、プロセス、テクノロジーです。

> **"お客様との会話で、どの業界も破壊的革新がいたるところで起こっているという話をよく聞きます。多くの人はこれを「デジタル・トランスフォーメーション」と呼んでいます。しかし、トランスフォーメーションはテクノロジーだけではなく、人や価値観にも関わることであると意識する必要があります。**
>
> **RED HAT 社長兼 CEO**
> ジム・ホワイトハースト

[1] IDC FutureScape: Worldwide IT Industry 2018 Predictions. IDC: The Premier Global Market Intelligence Company, Oct. 2017, www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=US43171317

第 2 章

オープンな企業文化：イノベーションを実現する組織づくり

ビジネスでの役割を「技術系」と「非技術系」のように単純に分類することは難しくなりました。破壊的デジタル革新はあらゆる人に影響を及ぼしています。したがって、ビジネスを未来へと推し進めるためには、チームや組織の全員がトランスフォーメーションを進めるための取り組みに参加する必要があります。テクノロジーの変化に対応するためには、働き方を見直す必要があるかもしれません。

オープンな組織

Red Hat では、オープンソースソフトウェア・コミュニティの基盤である原則が、あらゆる業界において、組織や企業文化のトランスフォーメーションにも役立つと考えています。組織全体で「オープン」の原則を採用すれば、破壊的革新をビジネスチャンスに変えることができます。

オープンな組織は俊敏性に優れ、各自が強い責任感を持って意欲的に仕事に取り組むため、未来に起こることにもしっかり立ち向かえます。透明性、協力関係、適応力、コラボレーション、コミュニティなどの基本原理を基に築かれたオープンソースのプラクティスは、急速に変化する世界で成功していくために不可欠なイノベーションを提供します。オープンな組織は、クリエイティブな問題解決、情報共有、スピーディな開発、事業の使命や目的に合わせた取り組みを促進します。

企業文化が変われば、チーム間の連携が強化され、デジタル・トランスフォーメーションの間もそれ以降も継続的に成功していくことが可能になります。しかし、それは一夜にして成し遂げられるわけではありません。組織の基盤になっている価値観を根本から見直すには、新しい組織モデルや新しい行動様式を採り入れることが必要になります。

透明性

個人やチームがそれぞれの計画、製品、プロセスの情報を複数の関係者に定期的に開示します。意思決定者もデータやリソースを他の人と共有します。

適応力

情報が自由に流れているので、個人が状況の変化に応じてリアルタイムで決定を下せます。試験的な取り組みや継続的な学習が奨励されます。

コミュニティ指向

共通の価値観と明確な目的があれば、部署間の壁がなくなり、チームメンバーは意義ある方法で貢献できます。

協力関係

フィードバックをやり取りする経路ができていて、意思決定が全体的かつ集合的になされます。リーダーはさまざまな視点からの意見を積極的に求めます。

コラボレーション

部門間で協力しながらチームが仕事を共有し、プロジェクトを立ち上げ、効率的にコミュニケーションを取ります。

オープンな組織は、革新的で、俊敏かつ意欲的な責任感の強い人材、つまり今後の破壊的革新の波に適応していけるように企業を助ける人材を育成します。

DEVOPS カルチャーで成功を導く

DevOps の企業文化では、開発、運用、プラットフォーム、基幹事業、マネジメント、サポートのすべての部門が同じ 1 つのチームとして働きます。その結果、部門を越えたコミュニケーションや自動化のプラクティスが生まれ、高品質のソフトウェアやサービスを短時間で提供することが可能になり、ビジネス価値や即応性が強化されます。

イノベーションを実現する組織づくり

1 年前、10 年前、100 年前にビジネスを成功させた価値は、今現在の競争を勝ち抜くためには役立ちません。企業文化に対してオープンなアプローチを取ることで、試験的な取り組みを奨励する姿勢が育まれ、元はあまりオープンでなかった部署同士のコラボレーションも促進されます。小さなチームが顧客のニーズやアイデアに直接対応できるようになっていくと、組織全体としてイノベーションを受容していく傾向が自然に強まります。

Red Hat の社長兼 CEO であるジム・ホワイトハーストは、「Organize for Innovation (イノベーションのための組織づくり)」という本の中で、働き方に影響を与える技術的、社会的、経済的な要因について考察し、あらゆる業界のリーダーたちはデータをどう活用するか、組織として失敗にどう取り組むか、チームをどう構成するか、どんな目標を設定するか、といったことを見直すべきであると述べています。

> **"価値観と行動が調和しているかどうかによって、絶えず破壊的革新が起こる現在の環境を生き延びていける企業文化を育んでいるかが分かります。**
>
> **RED HAT 社長兼 CEO**
> ジム・ホワイトハースト

イノベーションを実現する組織づくり
Red Hat CEO ジム・ホワイトハーストによる MWC18 での講演

基調講演を見る

オープンな企業文化を育てる
オープンな組織を作るための実用的なヒント

E ブックを読む

第 3 章

オープンなプロセス：働き方を見直す

すぐそこにいる同僚と協力することこそがトランスフォーメーションへの鍵だとしたら、どうしますか？インフラストラクチャ、アプリケーション開発、クリエイティブ、それぞれを担当するチームは互いに協力する必要があります。しかし、各チームは別々の目標を持っていると思い込み、互いが同じチームの一員だと認識しない傾向があります。

IT 部門の団結が必要

オープンなビジネスモデルでは、コラボレーションが鍵になります。融通の利かない縦割りのチーム構成が基盤になっている従来型の開発プロセスには、トランスフォーメーションを成し遂げるために必要な俊敏性が欠けています。先進的でオープンなプラクティスは、共通の目標を設定することで、チーム同士が力を合わせて前進することを助けます。

IT 部門が 1 つの目的の下に団結すれば、チームは次のことができるようになります。

- デザイン思考と実績のあるオープンソース・ライブラリに基づいて素早くプロトタイプを完成させる
- 自動化による継続的インテグレーションおよびデプロイメント
- 情熱的で生産性の高い人材の育成

迅速なフィードバックの力

過去には、チームがソリューションを計画して提供するまでに 1 年以上かかることもあったかもしれません。その時点でようやく、組織がそのソリューションを使えるようになります。その製品が市場で不評なら、チームは計画から提供までのサイクルを最初からやり直さなければなりません。

オープンなコラボレーションを実践するチームでは、異なる手法を用います。製品の構築を反復的に行い、年単位ではなく週単位でビジネス価値を生み出します。組織としても成功か失敗かをすぐに判断でき、チームが対応しなければならない場合も、最初からやり直す必要はありません。

Red Hat では、次のようなプラクティスによってビジネスの俊敏性を強化しています。

- ソフトウェアをビジネスニーズに合わせるためのイベントストーミング
- 仕事の優先順位を迅速に定めるためのバリュースライシング
- 実社会からのフィードバックを集めるためのユーザビリティテスト
- チーム内のコミュニケーションを促進するための反省会 (レトロスペクティブ)

その他のプラクティスについて

Red Hat が主催するコミュニティ・プロジェクト、Open Practice Library で詳細をご確認ください。

RED HAT が提供するサポート

Red Hat のアイデンティティは、オープンなアイデアやプロセスを軸としています。Red Hat Open Innovation Labs では、オープンなビジネスのエキスパートが、お客様がプロセスの強化、俊敏性の向上、イノベーションの促進を実現できるよう、DevOps の基盤となるツール、テクノロジー、思想を活用してサポートします。

Red Hat Open Innovation Labs を利用し、最高のオープンソースツール、メソッド、企業文化をチームとして体験することで、IT 部門、ひいては組織全体の変革を加速できます。この参加型のワークショップでは、エキスパートと肩を並べ、組織特有のニーズに合わせたトランスフォーメーションの計画を立てます。お客様の環境に適したツール、企業文化、プロセスを組み合わせることで、次のアプリケーション開発プロジェクトからスピードアップを実現し、DevOps 体制を確立することが可能となります。

お客様事例

Heritage Bank、Red Hat Open Innovation Labs 研修に触発されイノベーション・カルチャーを確立

"当行では、方向性を大きく変えることが必要でした。特にその必要があったのは IT チームです。そうした変化を実現するための一番の近道は、スキルの高い Red Hat のエキスパートの力を借りることだと考えました。

HERITAGE BANK, CIO
WAYNE MARCHANT 氏

Heritage Bank
People first.

目的

Heritage Bank は、新しいデジタルサービスをいち早く市場に投入し、デジタル・イノベーションを顧客に提供することによって、新規顧客を獲得し、企業文化を活性化したいと考えていました。

戦略

Heritage Bank は、自社向けのカスタム・ソリューションを提供し、IT チームと銀行全体の企業文化を変革するために、Red Hat を招き 6 週間の研修を実施しました。

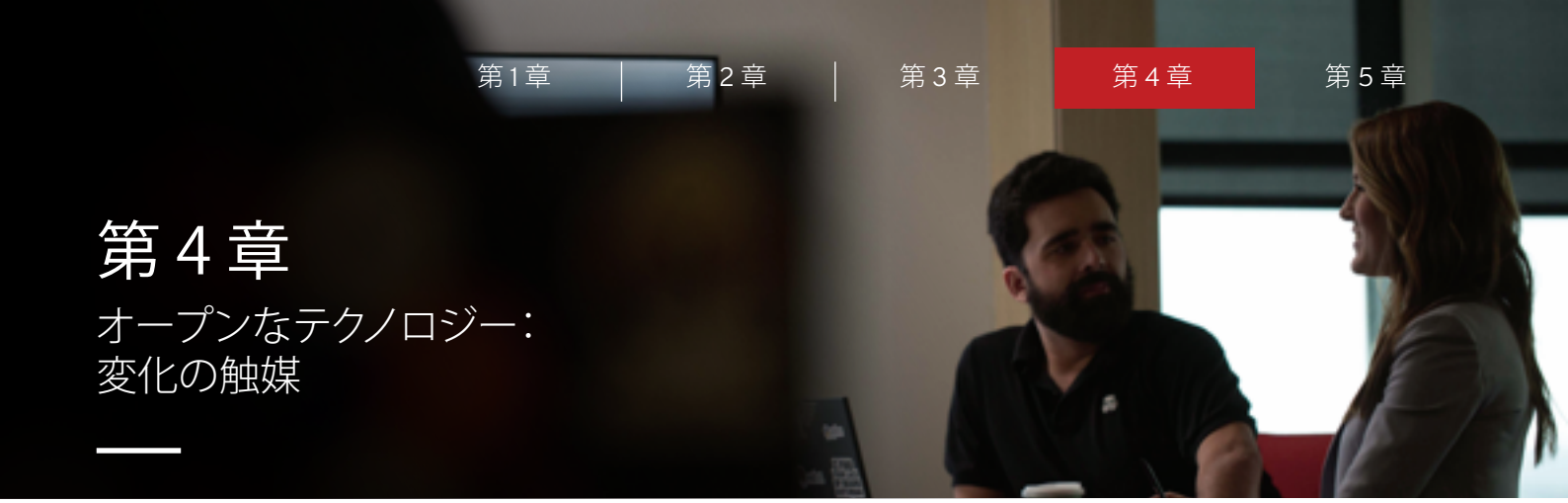
結果

新サービス開発の効率と俊敏性が高まり、イノベーションをよりよく推進する企業文化が育まれました。

注目コンテンツ
Red Hat Innovation Labs の詳細について

E ブックを読む

Red Hat Open Innovation Labs の詳細については、こちらのフォームからお問い合わせください。無料の半日ディスカバリー・セッションで、Red Hat のエキスパートがご説明いたします。
Red Hat と変革を起こしましょう。



第 4 章

オープンなテクノロジー：変化の触媒

未来を支えるオープンソース

オープンソース・ソフトウェアの出発点にあるのは、好奇心と、共通の問題を解決したいという願いです。多彩な人材のアイデアとスキルを組み合わせて、コミュニティを中心としたオープンソースの取り組みは、単純に利益を追求するアプローチを超える高品質のソリューションを生み出してきました。情熱やアイデアの共有から作られたオープンソース・ソフトウェアは、テクノロジーの力の担い手を、IT プロバイダーからユーザーへと変化させました。

トランスフォーメーションの進化

元来、IT 部門はデータセンターの中だけで、長期間のウォーターフォール型のプロセスでモノリシックなアプリケーションを作成していました。n 階層システムやクラウドテクノロジーが採用されていくにつれ、アプリケーション開発はアジャイル型のアプローチに移行し、オープンソースのライブラリ、ソフトウェア、サービスが、コミュニティ・プロジェクトを支える基礎となりました。

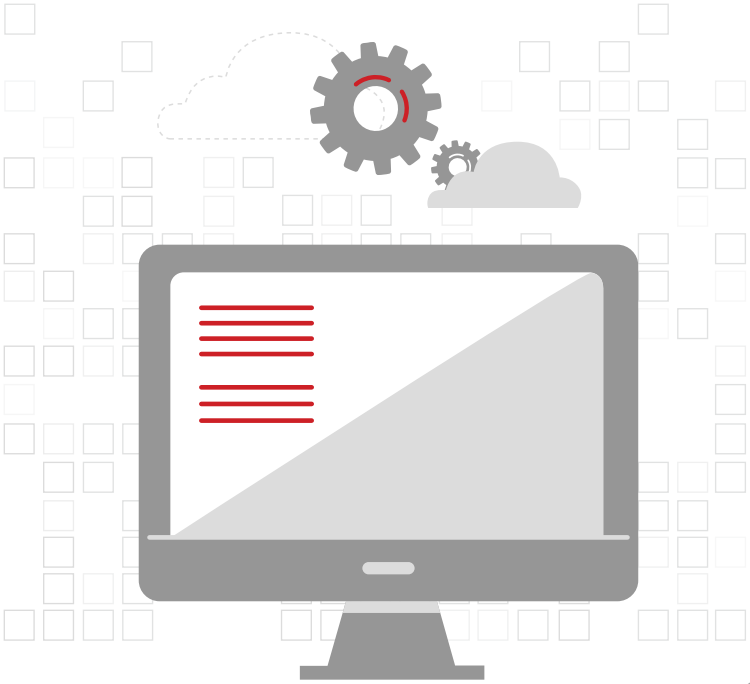
オープンテクノロジーの現在と未来

現在のテクノロジーは、ハイブリッド型アーキテクチャを基盤としており、マイクロサービスの継続的デリバリーを行うことで、急速に変化する顧客の要求に対応しています。このような環境で IT 戦略とビジネス戦略を調和させるには、必要とされる変化のスピードに対応できるテクノロジー・ソリューションが必要です。

オープンソース・ソリューションは、強力な開発者コミュニティのエコシステムから生まれた最高のアイデアをもとに開発されています。Red Hat は、最高のオープン・コンセプトを発展させることで、安定したエンタープライズ向けのオープン・ソリューションを提供しています。たとえば、Red Hat® OpenShift® は、Red Hat が Kubernetes の理想形として提案する as-a-service 型製品であり、コンテナ化された開発環境をフルサポート付きで提供します。Red Hat OpenShift を使用すれば、専門家により管理およびサポートされ、コンプライアンスを遵守するエンタープライズ向け Kubernetes によって、クラウドとオンプレミスのインフラストラクチャ全体で一貫したコンテナベース・アプリケーションの構築、デプロイ、管理が可能となります。

変化の触媒

Red Hat のソリューションを使用すると、自動化、ハイブリッドクラウド・インフラストラクチャ、コンテナ、アプリケーション開発ツールなど、複数のチームを結びつけるテクノロジーによって、IT 部門と事業部門の連携性を向上させることができます。オープンテクノロジーを採用すると、既存のソリューションでさらに多くのことを達成できるようになるだけでなく、ビジネスを変革し、市場での差別化につながる新しいチャレンジをサポートできるようになります。



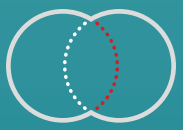
RED HAT はデジタル・トランスフォーメーション支援のエキスパートです。

既存 IT の最適化：オープンなテクノロジー、企業文化、プロセスを採用しつつ、既存資産の潜在力を最大化することで、短期的な利用効率の向上と長期的な事業成長の両方を支援します。

俊敏なハイブリッドクラウドの実現：成長に合わせてスケールするアーキテクチャにより、オンプレミスのハードウェアやソフトウェアが課す制約にとらわれない新しい機能を迅速に提供します。

プロセスの自動化：手作業を減らし、IT スタッフの負荷を軽減することによって、新しいビジネス目標に集中できるようにします。

クラウドネイティブなアプローチ：ビジネスと顧客にとって重要な製品を反復的に提供します。



効率的なインテグレーション：実績あるツールやテクノロジーを使用して、お客様に高度な機能やサービスを提供する新しいテクノロジーを短時間で導入します。

お客様事例

既存 IT の最適化

多くの組織が長年にわたり、インフラストラクチャ、アプリケーション、プロセス、ポリシーに多額の投資を行ってきました。新しいテクノロジーや手法の採用を求めるプレッシャーが存在する一方で、新たに導入するものと既存の投資や資産のバランスを取ることも同程度に重要です。このような場合、標準化と最適化を行うことで、イノベーションに取り組むためのリソースを確保できるようになり、ワークロードを必要に応じて配分するための柔軟性を得られます。最適化された IT は、ビジネスにイノベーションと知見をもたらすと同時に、現行の事業の運営と保護を助けるシステムのサポートとモダナイゼーションにも貢献します。

INTERMOUNTAIN HEALTHCARE、俊敏なソリューションでミッションをサポート

Intermountain Healthcare のプロプライエタリーな IT 環境は規模が非常に大きく、変更プロセスの複雑化とプロビジョニング・サイクルの長期化を招くことで、開発作業の妨げとなっていました。そのため、サービス提供を単純化し、コストを抑えることのできる、俊敏で柔軟なソリューションが求められました。Intermountain Healthcare では、Red Hat CloudForms® と Red Hat Ansible® Automation を使用することで、以前は数週間を要した IT のデプロイメントが数時間にまで短縮され、仮想マシンのプロビジョニングの所要時間も、3 日からわずか 20 分にまで短縮されました。

事例の詳細を読む

CATHAY PACIFIC

お客様事例

俊敏なハイブリッドクラウドの実現

ハイブリッドクラウド・インフラストラクチャでは、統合されたオープンソースのソフトウェア・スイートを利用することができ、お客様の組織の急速な成長を支えます。コンテナベースのアプリケーション開発プラットフォーム、スケーラビリティに優れたクラウドインフラ、統一的な運用管理フレームワークを活用することで、ワークロードをあらゆるクラウド環境にデプロイできるようになります。

CATHAY PACIFIC、カスタマーエクスペリエンスをさらなる高みに

Cathay Pacific は、52 の国や地域にある 200 の地点に乗客や貨物を輸送する国際的な航空会社です。同社の成長戦略において、デジタル機能は極めて重要な位置を占めています。既存の事業を継続しながら対応スピードと適応性に優れたカスタマーエクスペリエンスを創出していくため、Cathay Pacific では、従来のレガシー・ソリューションからハイブリッドクラウド・アーキテクチャへの移行を決定しました。Red Hat OpenStack® Platform と Red Hat OpenShift Container Platform を採用した結果、アプリケーション開発のスループットが 10 倍に増加し、需要の増減に応じてコンピューティング・リソースをスケーリングできるようになりました。

基調講演を見る

クラウド戦略に関する E ブックを読む

お客様事例

プロセスの自動化

組織としての競争力を維持するためには、サービス提供の迅速化と効率化が不可欠です。そのような提供体制を実現するためには、短期間でのインフラストラクチャ刷新、クラウド・テクノロジーの採用、先進的な開発環境の確立に加えて、顧客のニーズや将来起こりうる破壊的革新を想定した新しいプロセスが必要です。自動化された IT 管理ソリューションを導入すれば、運用チームの負担が減少することで、事業部門、開発チーム、顧客の要求にスピーディに対応することが可能となります。

英国陸軍、サービス提供のスピードアップと ユーザーエクスペリエンスの向上を図る

英国陸軍は、オープンな自動化テクノロジーを利用することで、修正提供の所要時間を 75% 短縮、アップグレードの所要時間を 90% 短縮、そして重要なパッチのデプロイにかかる時間を 3 日から 3 時間まで短縮しました。

事例の詳細を読む

注目コンテンツ

e ブック：組織を自動化する

E ブックを読む

自動化は、モダナイゼーションとデジタル・トランスフォーメーションに不可欠な戦略的要素です。このガイドでは、自動化を簡単に始める方法についてご紹介します。

お客様事例

クラウドネイティブな手法による開発

クラウドネイティブ・アプリケーションは、コンテナやマイクロサービスなどの革新的なテクノロジーを利用することで、保守作業の効率化に加えて、複雑なハイブリッドクラウド環境における可搬性を実現します。

BBVA、完全に自動化されたクラウド・プラットフォームを構築してカスタマーサポートを向上

国際的な金融グループである BBVA は、先進的なモバイルバンキング・アプリケーションを作成した後、増大し続ける顧客需要に対応するためにバックエンドシステムのアップグレードが必要であることに気付きました。BBVA は、Red Hat のエンタープライズ向けオープンソース・ソリューションを使用して、完全に自動化されたセルフサービス型かつデータ中心の、単一のグローバル・クラウド・プラットフォームを構築しました。このソリューションによって、BBVA はわずか 4 時間で 1 つの国全体に機能をデプロイできるようになりました。

事例の詳細を読む

注目コンテンツ

e ブック:
6 段階のデジタル・トランスフォーメーション

E ブックを読む

Red Hat の開発者エクスペリエンス部門を統括する Burr Sutter によるこの e ブックでは、IT 部門を煩雑なコストセンターから戦略的なビジネスパートナーに変革する方法を説明しています。

お客様事例

効率的なインテグレーション

トランスフォーメーションとは、必ずしも「今使用しているものすべてを入れ替える」という意味ではありません。既存のソリューションと新しいテクノロジーをインテグレーションにより連携させることで、分散していることの多いさまざまなソフトウェア・アプリケーション、サービス、API、データ、デバイスの接続方法を単純化し、再利用性を最大化できます。多くの場合、インテグレーション・プロジェクトには、システム、メッセージング層、API 管理プラットフォームを接続するためのソフトウェアが含まれます。

アルゼンチン移民局、RED HAT ソリューションで国家安全保障データを統合

アルゼンチン移民局は Red Hat と協力し、エンタープライズ向けのオープンソース・ソフトウェアをベースに、プライベートクラウドの移民分析プラットフォームを開発しました。これにより、潜在的な脅威を分析し、国内外のセキュリティ組織と連携する際の効率が向上し、レポートの作成スピードも 50 - 65% 迅速化しました。

事例の詳細を読む

> **1 年半かけてソリューションを提供する従来の方法とは対照的に、数週間または数カ月でコストを回収して利益を生み出し始めることが可能になりました。**
>
> **CARLA MAIER 氏**
> UPS CLOUD PLATFORMS AND TECHNOLOGY シニアマネージャー

UPS、Red Hat 製品で荷物の追跡と配送を効率化

事例の詳細を読む

第 5 章
コラボレーションによる変革

オープンソースは、「力を合わせればより多くのことを実現できる」という考えに基づき発展してきました。部門の垣根を越えてチームがアイデアを自由に共有していくと、イノベーションが加速し、より多くの仕事をより速く成し遂げ、リスクを抑えることができます。これと同じ「オープン」の原則がビジネスのあらゆる側面に適用されれば、すべてが、そして全員が、一緒に動き出します。すると、時間や人材を浪費するような活動が減り、テクノロジーの破壊的革新の波を予測し、波に飲み込まれる前にあらかじめ対策を講じることが可能となります。

「オープン」は RED HAT の DNA

Red Hat は 25 年以上にわたって、オープンソースの分野でビジネスを展開してきました。オープンソースのツールは、オープンな企業文化やプロセスと掛け合わせたときに、最も効果を発揮します。Red Hat は、オープンなテクノロジー、原則、プラクティスを理解したパートナーとして、お客様を支援します。Red Hat は、チームとオープンな手法を組み合わせることによって、お客様が俊敏で柔軟なサービスを提供し、ビジネスの資産を守りながら将来の変化に備え、スピーディに事業を発展させていけるようサポートします。

Red Hat のディスカバリー・セッションでは、オープンなビジネスモデルを実現するための組織変革の始め方をご紹介します。

セッションをリクエストする

Copyright © 2018 Red Hat, Inc. Red Hat、Red Hat Enterprise Linux、Shadowman ロゴ、および JBoss は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。

#OPENTRANSFORMS

redhat.